

SOLIDWORKSではじめる シミュレーション

線形静解析

知ってた？ SolidWorks、応力解析ツールの使い方（初歩編）

受講のご案内

◆今回の研修の録画や録音はご遠慮ください。

◆研修内容の復習用動画をご用意しております。

セミナー終了後にメールにてアドレスをお送りします。

◆お客様側の機材トラブルやネットワーク障害等で、授業を停止することは致しかねますので予めご了承ください。

受講のご案内

- ◆今回の研修では「手を挙げる」機能を使用してお客様の進捗確認や質疑応答を行います。挙手状況を正確に把握するために手は講師側で降ろします。
- ◆通常「チャット」機能は使わず、講師も個別の返信は行えません。セミナーの映像や音声が止まったり途切れた場合にチャット機能でのお知らせにご協力ください。

受講のご案内

- ◆1時間につき5分程度の休憩をはさむ予定です。
- ◆休憩前に実施した内容に関する質問の時間を設けています。
質問の際にはお客様のマイクをオンにして口頭にて質問を受付けます。時間の関係上全ての質問にお答えできないことがあります。
- ◆質問時に「授業中の操作を再度実施してほしい」「自分のデータや成果物をチェックしてほしい」といったご要望は、進行時間の観点から致しかねますので、あらかじめご了承ください。
その際は、復習用の動画をご活用いただければ幸いです。

授業の進め方（受講者様の画面イメージ）



Zoomの画面で講師の説明を確認しながら、
ソフトの操作をしていただきます

アンケートご協力をお願い

- ◆本日のセミナーに関しましてアンケートへのご協力をお願いしています。
- ◆今後のサービス向上のため、ぜひご協力をお願いできますと幸いです。
- ◆マイクロソフト社が提供するアンケートフォームに移動します。ご回答内容は、弊社のプライバシーポリシーに従って取り扱われ、サービスの向上のためだけに使用いたします。

カリキュラム内容

STEP-01

線形静解析に必要な周辺知識

接頭辞

応力

フォンミーゼス応力

応力ひずみ線図の解説

STEP-02

SolidWorks_simulationの静荷重ツール

Simulationの切り替え

Part読込

境界条件（固定）

荷重設定

メッシュ作成（自動）

解析実行

STEP-03

解析結果を読む

応力

ひずみ

変位量

STEP-04

解析結果の表示を見易くする

最大応力発生個所の表示

メッシュ表示、アニメーション

変形前と変形後の同時表示

STEP-05

形状変更のアドバイス

設計インサイトプロット定義

STEP-06

分解プレビューの作成

分解プレビューの作成

接頭辞

| 接頭辞 | |
|-----------|----------|
| 1,000,000 | M(メガ) |
| 1,000 | k(キロ) |
| | 1 |
| m(ミリ) | 0.001 |
| μ(マイクロ) | 0.000001 |

接頭辞は、桁を文字で表す方法です。

例：1000g と 1kg の場合は、kが接頭辞です。

ゼロがたくさん並ぶ数値を分かり易くする為に使用します。

解析の業務において、間違った結果をアウトプットしてしまう要因に、単位と接頭辞の違いが多く、致命的な結果に繋がります。

解析ツールで条件を設定するときや、結果を確認する時は、正しい接頭辞が使用されていることを、必ず確認をしましょう。